

# 2023年度 J-クレジット制度 沖縄地域活用事例集



内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課

# J-クレジット制度のご案内

## 1. J-クレジット制度の仕組み

J-クレジット制度は、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用による温室効果ガスの排出削減量や適切な森林管理による温室効果ガスの吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

認証されたクレジットは、購入することができ、カーボン・オフセットや温対法・省エネ法での活用、CDP・SBT・RE100での報告に活用するなど、さまざまな用途に活用※できます。また、クレジットの購入代金はクレジット創出者に還元され、さらなるCO<sub>2</sub>排出削減／吸収の取組や地域活性化等に活かすことができます。

※ クレジットの活用についてはp.9を参照。



## 2. J-クレジット創出者のメリット

|             |  |
|-------------|--|
| ランニングコストの低減 | ◎省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用によりランニングコストの低減やクリーンエネルギーの導入を図ることができます。 |
| クレジット売却益    | ◎設備投資の一部を、クレジットの売却益によって補い、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。          |
| PR効果        | ◎自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。      |
| 新たなネットワーク構築 | ◎クレジットの創出や売買を通して新しいネットワークの構築につながります。                         |
| 組織内の意識向上    | ◎省エネの取り組みが数値として見える化でき、メンバーの意欲向上や意識改革にもつながります。                |

### 3. J-クレジット制度の対象となる事業

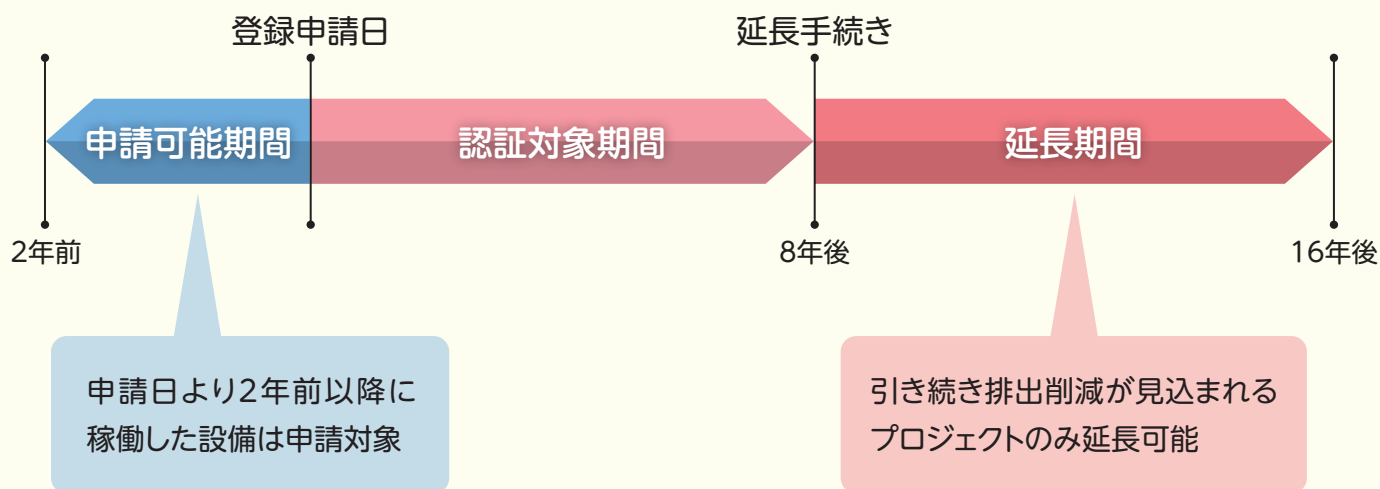
#### ◎プロジェクトの登録要件

- 日本国内で実施されること。
- プロジェクト登録申請日の2年前の日以降に稼働した設備が対象であること。
- 類似制度や本制度において、同一内容の排出削減プロジェクトが登録されていないこと。
- 排出削減のための設備投資回収年数が概ね3年以上であること(追加性を有すること)。
- 審査機関による第三者認証を受けていること。
- 本制度で承認された方法論に基づいていること。

#### ◎プロジェクトの対象期間

クレジットの認証対象期間はプロジェクト登録申請日またはモニタリング開始可能日のいずれか遅い日から8年間です。ただし、引き続き排出削減が見込まれるプロジェクトについては、さらに8年間(最大16年間まで)認証対象期間を延長することができます。

また、設備の更新などの排出削減をすでに実施済みの場合も、申請日から遡って2年前以降に実施されたものは、対象となります。



#### ◎プロジェクトの形態

プロジェクトの登録形態は「通常型」と「プログラム型」があります。プログラム型は削減・吸収活動を随時追加することができます。

##### 通常型

基本的には1つの工場・事業所等における削減活動を1つのプロジェクトとして登録する形態。

##### プログラム型

家庭の屋根に太陽光発電設備を導入など、複数の削減・吸収活動を取りまとめ1つのプロジェクトとして登録する形態。小規模な活動からクレジットを創出することが可能となり、登録・審査の手続き、コストを削減することも可能となる。

## ◎方法論一覧

### ●省エネルギー

- ・ボイラーの導入
- ・ヒートポンプの導入
- ・空調設備の導入
- ・ポンプ・ファン類への間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御の導入
- ・照明設備の導入
- ・コージェネレーションの導入
- ・変圧器の更新
- ・外部の効率のよい熱源設備を有する事業者からの熱供給への切り替え
- ・未利用廃熱の発電利用
- ・未利用廃熱の熱源利用
- ・電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車の導入
- ・ITを活用したプロパンガスの配送効率化
- ・ITを活用した検針活動の削減
- ・自動販売機の導入
- ・冷凍・冷蔵設備の導入
- ・ロールアイロナーの更新
- ・LNG 熱料船・電動式船舶の導入
- ・廃棄物由来燃料による化石燃料又は系統電力の代替
- ・ポンプ・ファン類の更新
- ・電動式建設機械・産業車両への更新
- ・生産設備(工作機械、プレス機械、射出成型機、ダイカストマシン、工業炉又は乾燥設備)の更新
- ・エコドライブを支援するデジタルタコグラフ等装置の導入及び利用
- ・テレビジョン受信機の更新
- ・自家発電機の導入
- ・屋上緑化による空調に用いるエネルギー消費削減
- ・ハイブリッド式建設機械・産業車両への更新
- ・天然ガス自動車の導入
- ・印刷機の導入
- ・サーバー設備の更新
- ・節水型水まわり住宅設備の導入
- ・外部データセンターへのサーバー設備移設による空調設備の効率化
- ・エコドライブ支援機能を有するカーナビゲーションシステムの導入及び利用
- ・海上コンテナの陸上輸送の効率化
- ・下水汚泥脱水機の更新による汚泥処理プロセスに用いる化石燃料消費削減
- ・共同配送への変更
- ・冷媒処理設備の導入
- ・省エネルギー住宅の新築又は省エネルギー住宅への改修
- ・ポルトランドセメント配合量の少ないコンクリートの使用
- ・園芸用施設における炭酸ガス施用システムの導入
- ・エネルギーマネジメントシステムの導入
- ・非再生可能エネルギー由来水素・アンモニア燃料による化石燃料等又は系統電力の代替
- ・水素燃料電池車の導入(非再生可能エネルギー由来水素利用)

### ●再生可能エネルギー

- ・バイオマス固形燃料(木質バイオマス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・太陽光発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する熱源設備の導入
- ・バイオ液体燃料(BDF・バイオエタノール・バイオオイル)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・バイオマス固形燃料(廃棄物由来バイオマス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・水力発電設備の導入
- ・バイオガス(嫌気性発酵によるメタンガス)による化石燃料又は系統電力の代替
- ・風力発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー熱を利用する発電設備の導入
- ・再生可能エネルギー由来水素・アンモニア燃料による化石燃料等又は系統電力の代替
- ・水素燃料電池車の導入(再生可能エネルギー由来水素利用)

### ●工業プロセス

- ・マグネシウム溶解鑄造用カバーガスの変更
- ・麻酔用 N<sub>2</sub>O ガス回収・分解システムの導入
- ・液晶 TFT アレイ工程における SF<sub>6</sub> から COF<sub>2</sub> への使用ガス代替
- ・温室効果ガス不使用絶縁開閉装置等の導入
- ・機器のメンテナンス等で使用されるダストブロー缶製品の温室効果ガス削減

### ●農業

- ・牛・豚・ブロイラーへのアミノ酸バランス改善飼料の給餌
- ・家畜排せつ物管理方法の変更
- ・茶園土壌への硝化抑制剤入り化学肥料又は石灰窒素を含む複合肥料の施肥
- ・バイオ炭の農地施用
- ・水稻栽培における中干期間の延長

### ●廃棄物

- ・微生物活性剤を利用した汚泥減容による、焼却処理に用いる化石燃料の削減
- ・食品廃棄物等の埋立から堆肥化への処分方法の変更
- ・バイオ潤滑油の使用

### ●森林

- ・森林経営活動
- ・植林活動
- ・再造林活動

2023年7月時点。方法論は随時追加されますので、最新情報はJ-クレジット制度のホームページでご確認ください。



## 4. J-クレジットが発行されるまでの流れ

クレジットの認証・発行までには、プロジェクトの登録とモニタリング(削減量や吸収量の算定をするための計測等)の2つのステップがあります。

J-クレジット制度への参加にあたっては、クレジット創出者を技術的にサポートする支援を活用することができます。支援事業は国から委託された事業者が実施していますので、事業の詳細・活用については、内閣府沖縄総合事務局 経済産業部エネルギー・燃料課\*までお問い合わせください。

\*裏表紙 問合せ先参照

### ステップ1 プロジェクトの登録

#### 1-1 プロジェクト計画書の作成

「どんなCO<sub>2</sub>排出削減/吸収事業(省エネ設備の導入、森林管理等)を実施するか」を記載した計画書を作成します。

※計画書の作成について支援(コーチング)を受けることができます。  
※対応する方法論がない場合は、新しく方法論を策定する必要があります。

#### 1-2 審査機関によるプロジェクト計画書の審査

「プロジェクト計画がJ-クレジット制度の規定に沿っているか」を審査機関が事前確認します。

※審査費用について支援を受けることができます。

#### 1-3 プロジェクト計画登録申請

有識者委員会に諮り、国が正式にプロジェクトを登録します。

### ステップ2 モニタリングの実施

#### 2-1 モニタリング報告書の作成

国に登録されたプロジェクト計画に基づき、排出削減量/吸収量を算定するための計測や実績を記録した「モニタリング報告書」を作成します。

※報告書の作成について支援(アドバイス)を受けることができます。

#### 2-2 審査機関によるモニタリング報告書の検証

「モニタリング方法等がJ-クレジット制度の規定に沿って行われているか」を審査機関に事前確認してもらいます。

※審査費用について支援を受けることができます。

#### 2-3 クレジット認証申請

J-クレジット事務局(制度管理者/委員会)にクレジットの認証を申請します。

### クレジットの認証・発行

## 5. 支援の対象事業者

- 中小企業基本法の対象事業者(みなし大企業であっても、法人単位で満たしていれば支援対象)
- 自治体 ●公益法人(一般/公益社団法人、一般/公益財団法人、医療法人、福祉法人、学校法人等)
- その他、大企業以外

# J-クレジット創出モデルケース

## ケース 1

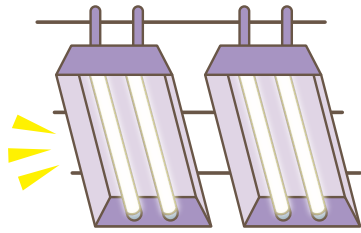
### 照明設備の導入

省電力の照明設備を導入することにより、電力の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 ○更新前の照明設備又は標準的な照明設備よりも、省電力の照明設備を導入すること

#### 更新前

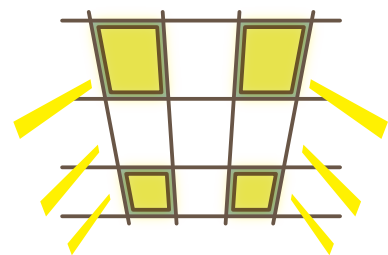
条 件：100Wの蛍光灯 800台  
稼働時間：3,600時間/年  
消費電力：288,000kWh/年  
排出係数：0.000434t-CO<sub>2</sub>/kWh  
年間排出量：125t-CO<sub>2</sub>



更新前の照明設備

#### プロジェクト実施後

条 件：20WのLED 800台  
稼働時間：3,600時間/年  
消費電力：57,600kWh/年  
排出係数：0.000434t-CO<sub>2</sub>/kWh  
年間排出量：25t-CO<sub>2</sub>



省電力の照明設備

ベースラインより  
電力使用量が  
削減される。

年間100t-CO<sub>2</sub>のクレジット創出

## ケース 2

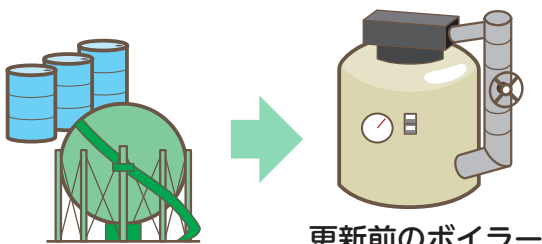
### ボイラーの導入

効率のよいボイラーを導入することにより、化石燃料や電力の使用量を削減するプロジェクトです。

【適用条件】 ○標準的なボイラーよりも、効率が良く、原則として都市ガス(又はLNG)又は電気で駆動するボイラーを導入すること  
○ボイラーで生産した蒸気又は温水等の熱の全部又は一部を自家消費すること

#### 更新前

燃 料：A重油  
エネルギー消費効率：85.5%  
生成熱量：4,342GJ/年  
排出係数：0.0708t-CO<sub>2</sub>/GJ  
年間CO<sub>2</sub>排出量：360t-CO<sub>2</sub>

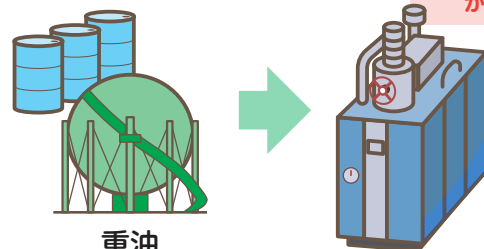


重油  
都市ガス等

更新前のボイラー  
又は  
標準的なボイラー

#### プロジェクト実施後

燃 料：都市ガス  
エネルギー消費効率：86.4%  
生成熱量：4,342GJ/年  
熱料使用量：112.2千Nm<sup>3</sup>/年  
単位発熱量：44.8GJ/千Nm<sup>3</sup>  
排出係数：0.0521t-CO<sub>2</sub>/GJ  
年間CO<sub>2</sub>排出量：261t-CO<sub>2</sub>



重油  
都市ガス等

高効率ボイラー

ベースラインより  
エネルギー使用量が  
削減される。

年間99t-CO<sub>2</sub>のクレジット創出

ケース  
3

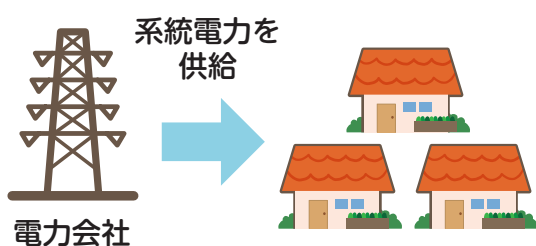
## 太陽光発電設備の導入（プログラム型）

太陽光発電設備を導入することにより、系統電力等の使用量を削減するプロジェクトです。

- 【適用条件】
- 太陽光発電設備を設置すること
  - 原則として、発電した電力の全部又は一部を自家消費すること
  - 発電した電力が系統電力等を代替するものであること

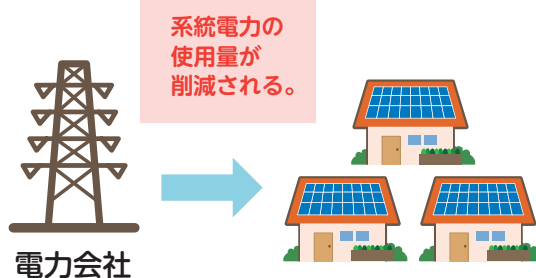
### 更新前

太陽光発電設備がなく、  
電力会社から系統電力を供給されている



### プロジェクト実施後

設置数：住宅155軒  
 設置容量：4kW/軒  
 発電電力量：4,000kWh/年/軒  
 売電電力量：2,500kWh/年/軒  
 排出係数：0.000434t-CO<sub>2</sub>/kWh  
 年間CO<sub>2</sub>削減量：0.65t-CO<sub>2</sub>/軒



年間100t-CO<sub>2</sub>のクレジット創出

## 沖縄県内のJ-クレジット創出

### J-クレジット登録事業者一覧

| プロジェクト実施者                          | プロジェクト概要                         | CO <sub>2</sub> 排出削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年) |
|------------------------------------|----------------------------------|--|
| 沖縄県企業局                             | 浄水場におけるポンプ・ファン類の更新               | 815  |
| 株式会社青い海                            | 製塩工場におけるボイラーの更新(重油→LPG)          | 322  |
| 有限会社登川商事(ドラゴンボウル)                  | ボウリング場における照明設備の更新(LED化)          | 112  |
| 国立大学法人琉球大学                         | 大学における太陽光発電設備の導入、変圧器の更新          | 83   |
| 株式会社南都(おきなわワールド)                   | 観光施設における照明設備の更新(LED化)、太陽光発電設備の導入 | 101  |
| 有限会社東南植物楽園                         | 観光施設における照明設備の更新(LED化)            | 53   |
| 有限会社具志川ゴルフクラブ                      | ゴルフ場における照明設備の更新(LED化)            | 106  |
| タピック沖縄株式会社(ペアーレ沖縄・タピック)            | 運動施設における照明設備の更新(LED化)            | 26   |
| 合資会社北谷スポーツセンター(スポーツワールドサザンヒル)      | 運動施設における照明設備の更新(LED化)            | 99   |
| タピック沖縄株式会社(ユインチホテル南城)              | 宿泊施設におけるコージェネレーションの導入(A重油→天然ガス)  | 160  |
| 沖縄綿久寝具株式会社                         | クリーニング工場におけるボイラーの更新(A重油→LNG)     | 1,790  |
| 株式会社琉球ホテルリゾート那覇(ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城) | ホテルにおけるボイラーの更新(A重油→都市ガス)         | 256  |
| 株式会社みつわ産業                          | 小売店舗における照明設備の更新(LED化)            | 93   |
| 社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院                | 病院における照明設備の更新(LED化)              | 137  |
| トーラス株式会社                           | 住宅における太陽光発電設備の導入                 | 148  |
| 株式会社饒平名エコステーション                    | 住宅における太陽光発電設備の導入                 | 44   |

## 事例 ≫ ホテルにおけるコージェネレーションの導入

# ユインチホテル南城(タピック沖縄株式会社)

### 1 施設の概要

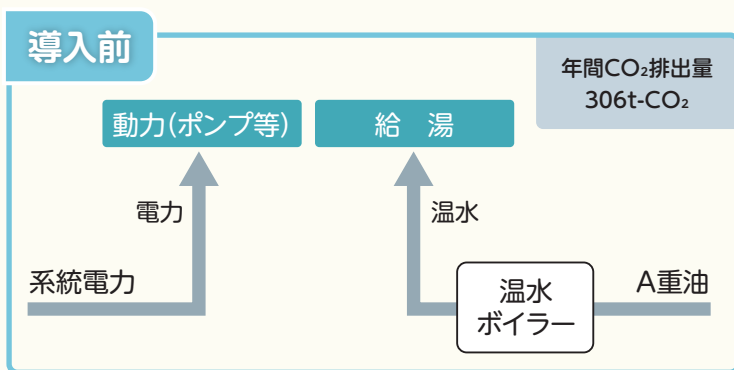
沖縄本島南部に位置し、豊かな自然に囲まれたユインチホテル南城。丘の上に建っており、沖縄の海を一望できる抜群のロケーションです。ご滞在中は、地元の生産者が大事に育てた食材を使ったお料理を堪能し、ご家族で楽しめる屋外プールやアクティビティで汗を流した後は、地底2,119mから湧き上がる約500万年前の太古の海水を含み、美肌成分の多い源泉かけ流しの天然温泉「さしきの猿人の湯」でゆっくり疲れを癒すことができます。「訪れる人すべての心と身体をゆたかに。」をコンセプトに、おひとり様から親子三世代でも楽しめるよう充実したサービスをご提供いたします。



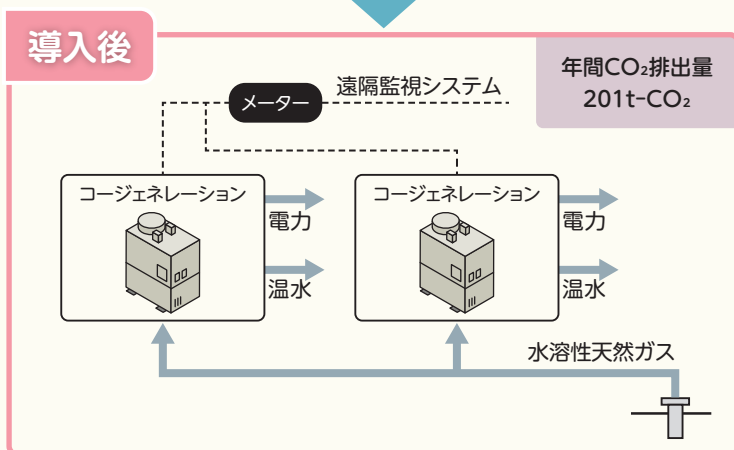
### 2 排出削減事業の概要

#### 温泉付随ガスを活用しコージェネレーションを導入

温泉水と共に汲み上げている水溶性天然ガスを燃料とするコージェネレーションを導入し、化石燃料および電力使用量を削減し、CO<sub>2</sub>排出量を削減しました。



鉱山ガス井、コージェネ(発電)



コージェネ施設の外観





- ◆ 事業者名 タピック沖縄株式会社
- ◆ 担当者 宮里 健二 (サポートチーム 施設課 次長)
- ◆ 連絡先 098-947-0118

- ◆ 所在地 沖縄県南城市佐敷字新里1688番地
- ◆ U R L <https://www.yuinchi.jp/>
- ◆ E-mail yhn-facility01@tapic-okinawa.jp

### 3 事業実施の経緯

#### 大気放散していた天然ガスを省エネに最大限活用

当ホテルの敷地内にある温泉井戸では、地下から温泉を汲み上げる際に水溶性天然ガスが付随し産出されます(以下:ガス)。当初は、温泉利用を主としていましたので、ガスを利用しておらず、大気放散しておりました。ガスの主成分はメタンで、地球温暖化の原因となることから、環境対策のためガスを活用する方法を模索していました。5年間にわたる準備・行政手続きを経てガスの利用許可を得たのち、これまで大気放散していたガス(メタン)を原料にしたマイクロコージェネレーション装置を導入する事ができました。また、設備導入後はボイラーで使用する重油および電気使用量を大幅に削減し、二酸化炭素の排出削減に貢献することができました。

地球温暖化防止に大きく貢献する本事業を、県内外の施設利用者等多くの方に周知すべく、J-クレジット制度に参加しました。プロジェクト登録から6年が経過し、支援条件を満たしたタイミングでモニタリング報告を実施、クレジット創出手続きを行いました。



### 4 取り組みの感想・効果

#### ユインチホテルを環境学習のメッカに

J-クレジット制度への参加を担当されたサポートチーム施設課の宮里健二次長は、取り組みの感想を次のように話しています。

“ 今回創出したJ-クレジットの一部については、有志企業とコラボレーションし、カーボン・オフセットを活用した修学旅行向けの商品を開発したいと考えています。

例) シャトルバス運行に伴って排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施し、その仕組みをホテルで学ぶ沖縄修学旅行等  
今後も環境に配慮したシステムを積極的に導入して磨きをかけ、取り組みを公開する事で県内外より訪れる研修旅行ならびに修学旅行向けに“環境を学ぶホテル”を提供したいと考えております。 ”

クレジット創出量

670  
t-CO<sub>2</sub>

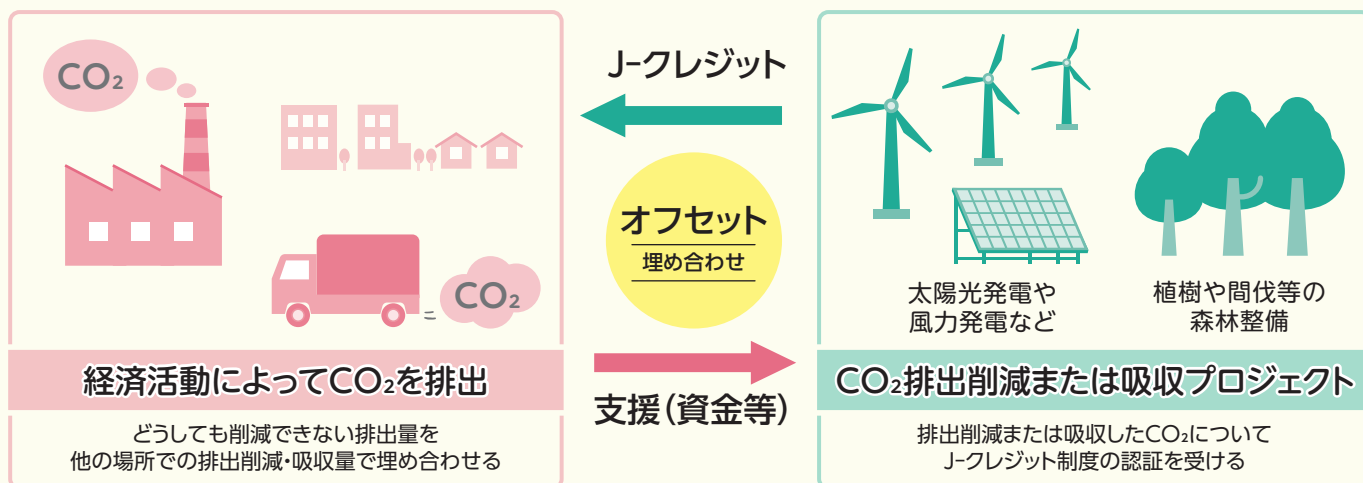
2016年4月～2022年7月

# J-クレジットの活用 ~カーボン・オフセット~

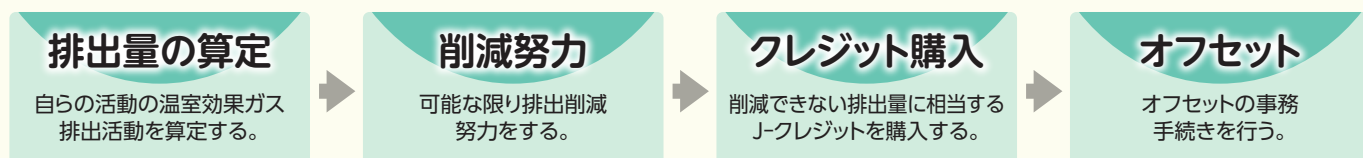
## 1. カーボン・オフセットとは

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において排出する温室効果ガスについて、できる限り排出量の削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った削減活動に投資することで、排出される温室効果ガスを"埋め合わせる(オフセット)"という考え方です。

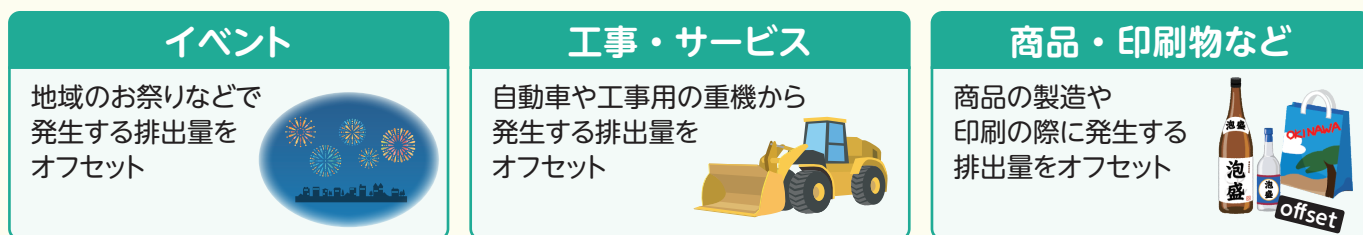
企業等により創出されたクレジットは、各地で開催されるイベントや企業活動などのカーボン・オフセットに活用されています。



## 2. オフセットの流れ



## 3. オフセットの種類



## 4. クレジットの活用例(その他)

### ● 温対法・省エネ法での活用

温対法：調整後温室効果ガス排出量や、調整後排出係数の報告に利用可能です。

省エネ法：省エネルギープロジェクトでのクレジットを省エネ法の共同省エネルギー事業の報告に利用可能です。

### ● CDP・SBT・RE100での報告に活用

CDP 質問書・SBT：再エネ電力や再エネ熱由来のJ-クレジットを、再エネ調達量として報告することができます。

RE100：再エネ電力由来のJ-クレジットを、再エネ調達量として報告することができます。

## 5. 沖縄県内のカーボン・オフセット事例

### イベントの カーボン・オフセット

沖縄県内では、スポーツ、学園祭や地域のお祭り、イルミネーション、セミナーなど、さまざまなイベントのカーボン・オフセットが行われています。

カーボン・オフセットを行うことで、環境に配慮したイベントとしてアピールできます。また、イベント参加者の環境意識を高めることにもつながります。さらに、沖縄県内のJ-クレジットを活用することで、県内企業が行うCO<sub>2</sub>排出削減の取り組みを支援できます。

#### 参加者の移動(自家用車)

100台が5km以内の地域から往復



0.2  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:10km/L(ガソリン)  
排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 参加者の移動(飛行機)

100人が那覇-宮古を往復



10.3  
t-CO<sub>2</sub>

那覇-宮古の飛行機利用  
片道52.0kg-CO<sub>2</sub>/人

#### 参加者の移動(シャトルバス)

10台が片道5kmを30往復



1.5  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:5km/L(軽油)  
排出係数:2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 会場の発電機使用

500Lのガソリンを使用



1.2  
t-CO<sub>2</sub>

排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L  
(ガソリン)

#### 廃棄物の処理

1,000kgのごみを処理



0.3  
t-CO<sub>2</sub>

排出係数:0.29kg-CO<sub>2</sub>/kg  
(一般廃棄物の場合)

#### イベント期間中の参加者の生活

1,000人が2日間滞在



12  
t-CO<sub>2</sub>

1日あたりの  
排出量6kg-CO<sub>2</sub>/人

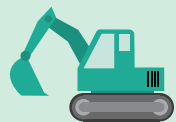
### 工事の カーボン・オフセット

沖縄県内では、公共工事で使用される建設機械や工事用車両から排出されるCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットが積極的に行われています。

工事に伴って排出されるCO<sub>2</sub>をカーボン・オフセットすることで、環境に配慮した工事を実施することができ、環境対策に積極的に取り組む企業としてPRすることができます。

#### バックホウ

20日間稼働



2.1  
t-CO<sub>2</sub>

1日40Lの軽油使用  
排出係数:2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### ダンプトラック

20日間稼働



2.6  
t-CO<sub>2</sub>

1日50Lの軽油使用  
排出係数:2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 現場事務所

1年間使用



7.2  
t-CO<sub>2</sub>

10,000kWhの電力使用  
排出係数:0.717kg-CO<sub>2</sub>/kWh

#### 工事・調査用車両

年間10,000kmを走行



2.3  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:10km/L(ガソリン)  
排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 工事・調査用船舶

20日間稼働



5.4  
t-CO<sub>2</sub>

1日100Lの重油使用  
排出係数:2.71kg-CO<sub>2</sub>/L

#### 作業員の通勤(車両)

10人×100日×往復10km



1.5  
t-CO<sub>2</sub>

燃費:15km/L(ガソリン)  
排出係数:2.32kg-CO<sub>2</sub>/L

# 2022年度 カーボン・オフセット事例紹介

## スターダストファンタジア 2022～2023

株式会社カヌチャベイリゾート



幻想的な星たちが彩る沖縄を代表するウィンターイルミネーションイベントです。

イルミネーションの電力使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

J-クレジット(株式会社青い海)、沖縄県CO<sub>2</sub>吸収量認証制度(ヤエヤマヤシによるCO<sub>2</sub>吸収量)



11 t-CO<sub>2</sub>

## 令和4年度 エコライフ&ネイチャーフェア

丸正印刷株式会社



「令和4年度 エコライフ&ネイチャーフェア」および別日開催の会場外ツアーにおける送迎バス・来場者車両・関係者車両・発電機の燃料使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



7 t-CO<sub>2</sub>

## 第46回沖縄の産業まつり

沖縄の産業まつり実行委員会



「第46回沖縄の産業まつり」における臨時巡回バスの燃料使用、電気使用、廃棄物の処理に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



5 t-CO<sub>2</sub>

## ナイスハートバザール イン 沖縄・宮古・石垣

株式会社琉球銀行



「第38回ナイスハートバザールイン沖縄」、「第7回ナイスハートバザールイン宮古」、「第5回ナイスハートバザールイン石垣」における来場者の車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



4 t-CO<sub>2</sub>

防災・危機の学びをチカラに  
みんなでなろうキレンジャー!  
in 沖縄コンベンションセンター

沖縄コンベンションセンター・株式会社サンダーバード・株式会社note



「防災・危機の学びをチカラに～みんなでなろうキレンジャー！ in 沖縄コンベンションセンター」の開催期間中に参加者の生活から排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



3 t-CO<sub>2</sub>

CPDS セミナー  
(沖縄建設マネジメントフォーラム)

NPO法人グリーンアース事務局



2022年度CPDSセミナー(沖縄建設マネジメントフォーラム)参加者の移動に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(株式会社青い海)



2 t-CO<sub>2</sub>

潮乃森ビーチフェスタ2022

沖縄市 東部海浜開発局



「潮乃森ビーチフェスタ2022」におけるシャトルバスの燃料使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

令和4年度  
エネルギー使用合理化シンポジウム

内閣府沖縄総合事務局



「令和4年度エネルギー使用合理化シンポジウム」における来場者・関係者の車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



1 t-CO<sub>2</sub>

令和4年度戦略的MICE誘致促進事業  
J-クレジット制度を活用した  
コングレスバッグ製作業務

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー



「MICEコングレスバッグ」の原材料調達、輸送、流通に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



10 t-CO<sub>2</sub>

沖縄大交易会2022  
公式ガイドブック

沖縄大交易会実行委員会



「沖縄大交易会2022公式ガイドブック」の原材料調達・印刷・流通・廃棄に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

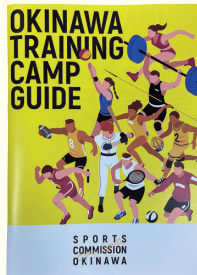
おきなわ美ら島カーボンクレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

令和4年度  
スポーツコミッション沖縄体制整備事業

公益財団法人沖縄県スポーツ協会



「沖縄トレーニングキャンプガイド(英語表記)」の原材料調達・印刷・流通に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

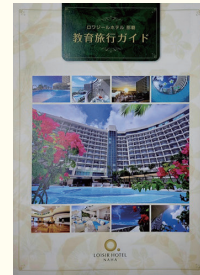
おきなわ美ら島カーボンクレジット



1 t-CO<sub>2</sub>

ロワジールMICE(修学旅行)向け  
パンフレット

ロワジールホテル 那覇



「ロワジールホテル 那覇 教育旅行ガイド」、「ロワジールホテル那覇イースト 教育旅行ガイド」の原材料調達、生産時の電力使用、輸送に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



1 t-CO<sub>2</sub>

## 行内報かいぎん2022年8月号vol.68 行内報かいぎん2023年1月号vol.69

株式会社 沖縄海邦銀行



「行内報かいぎん2022年8月号vol.68」、「行内報かいぎん2023年1月号vol.69」の原材料調達、生産時の電力使用、輸送に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



2t-CO<sub>2</sub>

## 令和3年度那覇空港高架道路 オフランプ部下部工工事

南洋土建株式会社



沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所発注の「令和3年度那覇空港高架道路オフランプ部下部工工事」において、自動車（職員及び作業員の通勤車両）および電気（現場事務所）の使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



24t-CO<sub>2</sub>

## 令和4年度 浦添拡幅歩道橋基礎工事

株式会社高橋土建



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「令和4年度浦添拡幅歩道橋基礎工事」において使用するボーリングマシン、床掘り・埋戻し機、コンクリート打設機、吊込み機、運搬機、締固め機の稼働および現場休憩所の電気の使用に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



22t-CO<sub>2</sub>

## 嘉手納(3)汚水排水施設(430) 整備土木工事(その2)

有限会社幸地建設



沖縄防衛局発注の「嘉手納(3)汚水排水施設(430)整備土木工事(その2)」において、ダンプおよびバックホウの稼働に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



10t-CO<sub>2</sub>

## 令和3年度小禄道路橋梁下部工 (P18、P19)工事

金秀建設株式会社



沖縄総合事務局開発建設部発注の「令和3年度小禄道路橋梁下部工(P18、P19)工事」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



12 t-CO<sub>2</sub>

## 安里川河川改修工事(R4-1)

金秀建設株式会社



沖縄県土木建築部南部土木事務所発注の「安里川河川改修工事(R4-1)」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



10 t-CO<sub>2</sub>

## 県立農業大学校新築工事(造成)

金秀建設株式会社



沖縄県土木建築部施設建築課発注の「県立農業大学校新築工事(造成)」において、現場職員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



9 t-CO<sub>2</sub>

## 小禄幹線管更生工事(R3)

株式会社第一建設



沖縄県発注の「小禄幹線管更生工事(R3)」において使用したバックホウの稼働、作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

### 利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



3 t-CO<sub>2</sub>



### 令和3年度 恩納南BP1工区法面对策工事

株式会社丸石建設



「令和3年度恩納南BP1工区法面对策工事」において、作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



5 t-CO<sub>2</sub>

### 令和3・4年度嘉手納出張所管内 道路維持・修繕(その2)工事

株式会社丸石建設



沖縄総合事務局南部国道事務所発注の「令和3・4年度嘉手納出張所管内道路維持・修繕(その2)工事」において、作業員の通勤車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンクレジット



3 t-CO<sub>2</sub>

### 平和祈念資料館改修工事(電気)

マエダ電気工事(株)・(株)きゃん電研  
特定建設工事共同企業体



沖縄県土木建築部発注の「平和祈念資料館改修工事(電気)」において、従業員の通勤車、移動車の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



4 t-CO<sub>2</sub>

### 南大東水道施設電気計装設備工事 (その2)

マエダ電気工事株式会社



沖縄県企業局発注の「南大東水道施設電気計装設備工事(その2)」において、作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



1 t-CO<sub>2</sub>

### 平和祈念資料館改修工事(空調)

(株)和高建設工業・(株)オカノ・技研工業(株)  
特定建設工事共同企業体



沖縄県土木建築部施設建築課発注の「平和祈念資料館改修工事(空調)」において、作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

#### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンプレジット



6 t-CO<sub>2</sub>

### 玉城青少年の家改築工事(研修棟・機械)

(株)オカノ・(株)金吉設備工業  
特定建設工事共同企業体



沖縄県土木建築部発注の「玉城青少年の家改築工事(研修棟・機械)」において使用する作業員の通勤車の走行およびバックホウの稼働に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

#### 利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



6 t-CO<sub>2</sub>

### (仮称)那覇ふ頭1号・2号 上屋建替工事(機械)

株式会社和高建設工業



那覇港管理組合発注の「(仮称)那覇ふ頭1号・2号上屋建替工事(機械)」において、作業員の通勤車両の走行に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

#### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンプレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

### 平和祈念資料館改修工事(衛生)

株式会社和高建設工業



沖縄県土木建築部施設建築課発注の「平和祈念資料館改修工事(衛生)」において、作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

#### 利用したクレジット

おきなわ美ら島カーボンプレジット



2 t-CO<sub>2</sub>

### 沖縄刑務所職員宿舍等 新営(電気設備)工事

株式会社那覇電工



法務省大臣官房発注の「沖縄刑務所職員宿舍等新営(電気設備)工事」において、現場作業車および作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



### 防災行政無線用多野中継局 受電線路改修工事

株式会社那覇電工



沖縄県発注の「防災行政無線用多野中継局受電線路改修工事」において、現場作業車および作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



### 沖縄情報通信センター 直流電源装置蓄電池取替修繕

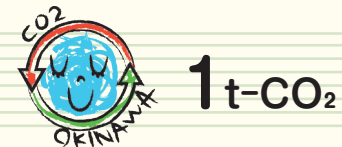
株式会社那覇電工



沖縄県発注の「沖縄情報通信センター直流電源装置蓄電池取替修繕」において、現場作業車および作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



### 県議会棟直流電源装置 蓄電池修繕

株式会社那覇電工



沖縄県発注の「県議会棟直流電源装置蓄電池修繕」において現場作業車および作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



### 万国津梁館 高圧ケーブル更新工事

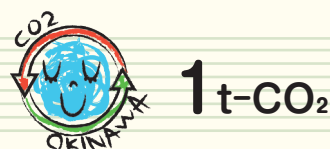
株式会社那覇電工



沖縄県発注の「万国津梁館高圧ケーブル更新工事」において、現場作業車および作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

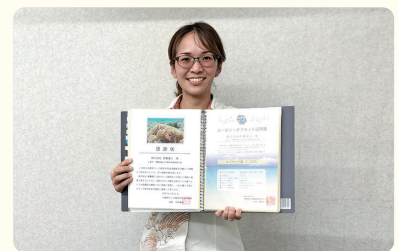
利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)



### 那覇地裁庁舎 電気設備改修工事

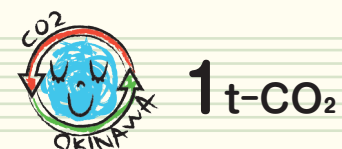
株式会社那覇電工



福岡高等裁判所発注の「那覇地裁庁舎電気設備改修工事」において、現場作業車および作業員の通勤に伴い排出されたCO<sub>2</sub>のカーボン・オフセットを実施しました。

利用したクレジット

J-クレジット(沖縄県企業局)





「変える」をコンセプトに、削減したCO<sub>2</sub>を環境価値に変えること、世界的な環境問題である地球温暖化を沖縄から変えていこうという想いを込めてデザインされたロゴマークです。

J-クレジット制度について詳しく知りたい方は  
ホームページをご覧ください。  
<http://japancredit.go.jp/>



沖縄県内の制度参加、  
カーボン・オフセットの支援についてはこちらまで。  
<https://www.okikanka.or.jp/information/j-cre/>



#### お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 エネルギー・燃料課  
〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館  
TEL 098-866-1759

一般財団法人 沖縄県環境科学センター  
〒901-2111 浦添市字経塚720番地  
TEL 098-875-5208

本紙の原材料調達、生産時の電力使用、製品の流通、廃棄に伴って排出されたCO<sub>2</sub>は、沖縄県内の事業者が実施した排出削減事業によって創出されたJ-クレジットでカーボン・オフセットします。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。